

【企画セッション3】

開催日時	12月11日（日曜日） 午前 10:00～12:00
タイトル	日本における地域協働の先進的な取り組み・グラウンドワークが残した成果とは～グラウンドワーク三島の30年の活動から検証する～
企画責任者	松下重雄（長野大学環境ツーリズム学部教授）
趣 旨	<p>英国発の市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりの仕組みである「グラウンドワーク」が1990年代のはじめに日本社会に紹介され、当時の政府の白書に取り上げられるなど、多方面の研究分野や地域活動分野から注目された。この気づきの切っ掛けとなったのが環境情報科学センター20周年記念事業「日英グラウンドワーク交流事業」である。</p> <p>この交流事業の具体的な対象地域地区になったのが「水の都・三島（静岡県三島市）」である。それを契機に複数の市民グループが連携し、日本におけるパートナーシップ型の環境まちづくりを進める中間支援組織として「グラウンドワーク三島」が設立され、多様な活動を展開し、今年で30周年を迎える。</p> <p>本企画セッションでは、グラウンドワーク三島の30年の活動の足跡をふりかえり、今後の地域協働型（パートナーシップ型）環境まちづくりの可能性と課題を展望したい。</p>
内 容	<p><プログラム：全120分程度></p> <ol style="list-style-type: none"> 松下重雄（長野大学教授）：趣旨説明（5分）および「グラウンドワーク概説」（10分） 渡辺豊博（特定非営利活動法人グラウンドワーク三島専務理事/前都留文科大学教授）： 基調講演「グラウンドワーク三島の30年の足跡」（40分） 総合討論（司会：松下重雄）： 討論者によるコメント（各5分）と総合討論・質疑応答（40分）合計60分程度 <討論者> <ul style="list-style-type: none"> 三橋伸夫（宇都宮大学名誉教授/特定非営利活動法人とちぎ協働デザインリーグ） 岩岡竜夫（東京理科大学教授） 渡辺豊博 渡辺豊博：総括（5分）

参加にあたっての注意点

<参加登録・通信環境について>

- 参加にあたっては大会サイト（https://www.ceis.or.jp/sympoinfo_2022.html）から参加手続きをお取りください（参加費は無料）。
- 当日の運営・進行は各セッションの企画責任者にお任せしています。**セッション時の通信トラブルなどについては、大会事務局では対応できませんのでご了承ください。**
- 安定したインターネット接続環境下で聴講ください。

<その他>

- 企画セッションの録音・録画・スクリーンショット等は、オーガナイザーの許可のない限り禁止です。**
- 会場に入られる際には、「名前」をフルネームに設定してください。（イニシャルや苗字のみでの参加は会場運営に支障が生じる可能性がありますのでご協力ください）
- セッション中は、マイクを「ミュート」、カメラを「オフ」にしてください。
- 質問時には、オーガナイザーの指示に従いマイクを「オン」にしてください。